

新潟県支部総会の開催報告

平成19年7月21日(土)、新潟市のホテル新潟において平成19年度新潟県同窓会定例総会が開催されました。

当日は中越沖地震発生直後にもかかわらず、卒業生32人の出席があり、本部同窓会から会長の紫野正雄先生、そして平成18年度から麻布大学の客員教授となりました前新潟大学教授の楠原征治先生(現新潟県獣医師会副会長)からご臨席をいただきました。

総会の前に中村信孝先生(昭和19年卒)、加藤幸五郎先生(昭和25年卒)、土屋忠夫先生(昭和31年卒)、黒金弘先生(昭和33年卒)のご冥福を祈り黙祷を捧げました。

総会は岡沢武夫会長(昭和35年卒)の開会挨拶に始まり、会長を議長として議事が審議されました。事務局から平成18年度事業報告及び収支決算並びに平成19年度事業計画及び収支予算案についての説明があり、いずれも原案どおり承認されました。また会則及び規定の一部改正も提案されましたが、原案どおり承認されました。

総会終了後、紫野同窓会長から「同窓会の運営方針」や「学園の近況」等について講演があり、同窓会は会員相互の情報交換、親睦と交流を一層推進していくこと、また大学は獣医臨床センターと併設した7階建ての獣医学部棟の新設など、益々躍進著しい母校の近況を紹介していただきました。

新潟県では総会に併せて毎年「新潟県同窓会報」発行して今回で第36号になりますが、多くの会員から「職場紹介」「症例報告」「随筆」などの寄稿をいただき、継続発行することができました。

講演会に続いて催された懇親会は、小松原昭栄(昭和24年卒)先生の乾杯で始まり、参加会員の自己紹介と近況報告、酔いが回れば「記念祭の歌」「大学歌」「寮歌」そして早福昌司先生(昭和34年卒)の「数え歌」の合唱で大いに盛り上がりました。

最後は井之川勝一副会長(昭和38年卒)の一本締めで来年の再会を約束し、宴を終了することができました。

文責：事務局 大野裕一(昭和53年卒)